

小石原焼の特徴

小石原焼は古くから生活の役に立つ「用の美」を追及してきました。その特徴は、飛び鉋、刷毛目、楡目模様、流し掛け、打ち掛けといった技法にあります。素朴で温かい生活の器です。

高取焼の特徴

高取焼は江戸時代に黒田藩の御用窯として繁栄し、徹底した献上品作りを通じた藩の隠し窯でした。二代目藩主黒田忠之が茶人小堀遠州との交流を深め、遠州好みの潇洒(しょうしゃ)な茶器を多く焼かせたことにより、「遠州高取」と呼ばれ、遠州七窯のひとつに数えられます。洗練され、垢抜けた美しさは「綺麗さび」と表現され、茶の湯の世界で愛され続けています。

小石原焼・高取焼窯元 (市外 0946)

窯名	電話	窯名	電話
ヤママル窯	74-2817	マルサン窯	74-2125
ヤマイチ窯	74-2025	上鶴窯	74-2097
八仙窯	74-2211	鶴見窯	74-2552
マルワ窯	74-2248	小野窯	74-2363
柳瀬本窯元	74-2206	蔵人窯	74-2421
マルダイ窯	74-2031	土秀窯	74-2624
福島本窯	74-2056	泉利美窯	74-2416
早川窯	74-2026	斐山窯	74-2059
金丸窯	74-2074	辰巳窯	74-2440
川崎哲弘窯	74-2134	秀山窯	74-2422
太田熊雄窯	74-2037	柳瀬健治窯	74-2724
太田秀隆窯	74-2321	翁明窯	74-2186
やまぜん窯	74-2811	鬼丸豊喜窯	74-2709
森喜窯	74-2236	森山貴山窯	74-2322
太田哲三窯	74-2159	まるた窯	74-2220
森山製陶所	74-2632	善窯	070-7580-2851
福嶋運窯	74-2041	元永陶苑	74-2731
泉種吉窯	74-2226	永末亮一窯	74-2633
鬼丸雪山窯	74-2810	要窯	74-2094
宝山窯	74-2109	原彦窯	74-2122
今鼓窯	74-2827	高取焼宗家	74-2045
カネ八窯	74-2203	圭秀窯	74-2127

ご入館 (展示室)

		料金	身障者
大人	一般	250円	150円
	団体	200円	100円
高校・大学生	一般	200円	100円
	団体	150円	50円
小学・中学生	一般	150円	50円
	団体	100円	50円

陶芸体験【事前のご予約をお願いします】

体験内容	体験料
絵付け体験 約45分	湯呑(小) 880円
	湯呑(大) 1,210円
	5寸皿 1,320円
	7寸皿 2,640円
	フリーカップ 1,320円
手びねり体験 約50分	500g 1,650円 ※お湯呑、お皿、茶碗等が作れます
	電動ロクロ 3,520円 ※大作品1個か小作品2個 飛び鉋体験 2,200円 ※練習 + 1作品

- ・作品の出来上がりは約2ヶ月後です。ただし、窯がいっぱいにならない場合、混みあっている場合はそれ以上の期間がかかる時があります。
- ・不慮の事故(落下、破裂、窯の温度上昇等)により破損した場合は、無料体験券が小石原焼のいずれかに代えさせていただきます。
- ・団体のご予約は、1カ月前までをお願いします。



伝統的工芸品

こいしわらやき

小石原焼

小石原焼伝統産業会館



小石原焼伝統産業会館

福岡県朝倉郡東峰村小石原 730-9

電話 0946-74-2266

Fax 0946-28-7805

公式ホームページ

<http://densan2266part1.jimdofree.com>

火曜休館日 (祝日の場合は翌日)

当館は近世から現代に至る陶磁器(小石原焼・高取焼)を展示しています。また、初心者から上級者まで気軽に体験できる陶芸工房もあります。

あゆみ

1665年 高取八蔵父子が小石原鼓に窯を築く。
小石原焼は、1682年 福岡藩 3代藩主黒田光之が伊万里から陶工を招き窯を築いたのが始まりで、筑前最初の窯である。

当初はその地名から「中野焼」と呼ばれ、大型のかめ、壺、徳利等の磁器を焼いていたが、18世紀初めから陶器が焼かれるようになり、小石原焼と呼ばれるようになったと言われている。

江戸時代中期、小鹿田村(大分県日田市)から招きを受けて陶工・柳瀬三右衛門が赴き、小石原焼の技法を伝える。現在も小鹿田焼は柳瀬三右衛門の子孫らが窯元として残っている。

1954年(昭和29年)柳宗悦やバーナード・リーチらが小石原を訪れ、「用の美の極致である」と絶賛したことで全国的に知られるようになった。

- 1665年 高取焼が小石原鼓にて窯を開く
- 1682年 伊万里より陶工を招き小石原で磁器を焼く
中野焼(現 小石原焼)の始まり
- 1958年 ブリュッセル万国博覧会【世界工芸展】で
小石原焼(太田熊雄氏作)がグランプリ受賞
- 1961年 日本工芸館小石原分館設立
- 1973年 小石原焼陶器協同組合設立
- 1975年 通産省によって、小石原焼は陶磁器では日本
で初めて「伝統的工芸品」に指定される
- 1998年 「小石原焼伝統産業会館」開館
- 1999年 道の駅小石原「陶の里館」開館
- 2007年 「小石原焼」商標登録
- 2017年 福島善三氏 人間国宝に認定

※柳 宗悦(やなぎ むねよし、1889年-1961年)は、民藝運動を起こした思想家、宗教哲学者。そうえつとも呼ばれる。
※バーナード・リーチ(1887年-1979年)イギリス人の陶芸家、画家としても知られる。日本民藝館の設立にあたり、柳宗悦に協力した。

館内展示品



道具類



山犬



卓越した陶作品



受賞作品



窯元代表作



古陶器



特別展



古窯出土品



登り窯

陶芸体験



社会科学習

小学校4年生を対象に、9月~3月まで予約受け付けています。



修学旅行・親子会 等



主な小石原焼の技法



とびかんちもよう
飛鉋模様



はけめもよう
刷毛目模様



ほんがきもよう
ポン書き模様



くしがきもよう
櫛書き模様



ゆびがきもよう
指書き模様



ながしかけ
流し掛け



うちかけ
打ち掛け



わらばけめ
藁刷毛目